

研究機関：広島大学

研究課題名	肝臓移植における予後因子及び合併症危険因子の検討
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科消化器移植外科学 教授 大段秀樹
研究期間	2020年3月23日（倫理委員会承認後）～2030年12月31日
対象者	広島大学病院消化器移植外科で肝臓移植による治療を受けられた患者。
意義・目的	肝臓移植は手術手技の向上や免疫抑制剤の開発に伴いその成績は向上していますが、肝不全患者に対して侵襲の大きい手術を行い、術後に強力な免疫抑制剤を投与することから術後合併症は未だ多いのが現状です。また、免疫抑制剤長期服用に伴う合併症（高血圧、糖尿病、腎障害など）も報告されており、肝臓移植後長期間経過した患者の成績向上も重要な課題です。本研究の目的は、肝臓移植後の予後因子、術後合併症の危険因子を明らかにすることです。
方法	広島大学病院で肝臓移植を行った患者の診療録、すでに研究室で保存しているサンプル（血液、灌流液など）、データベースから得られるデータを収集します。肝臓移植後の生存に關与する因子、合併症に關与する因子を後方視的に解析します。
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院 医系科学研究科消化器移植外科学 教授 大段秀樹
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	大平 真裕 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5222 広島大学病院 未来医療センター 職名 助教 大平 真裕